

第 118 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 20 年 5 月 16 日 (金) 14 : 30 ~ 16 : 00

場 所 日本交通協会 第 2 会議室

出席者 委 員 長 田辺 (電中研)

委 員 伊澤 (菊水電子)、小野 (日本大)、木本 (佐賀大)、佐山 (防衛大)
竹内 (横河電機)、長井 (電通大)、仲嶋 (三菱電機)、山崎 (電中研)

参 加 内田 (電通大)

幹 事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)

幹事補佐 白井 (日電検)

資 料

118-1 第 76 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録および計測技術委員会活動報告

118-2 平成 20 年度 計測技術委員会活動計画 (最終案)

118-3 平成 20 年度 計測研究会開催予定 (最終次案)

118-4 平成 20 年度 計測技術委員会活動状況

118-5 平成 20 年度 計測研究会開催状況

118-6-1 計測研究会プログラム (5 月および 6 月開催分)

118-6-2 平成 20 年度連合研究会に関する回答

118-7 平成 19 年度 基礎・材料・共通部門誌 編集計画案

議 事

1. 議事録の確認

- ・異議なく承認された。

2. 運営委員会報告 (平成 20 年 4 月 28 日開催分)

田辺委員長より、資料 118-1 に基づき以下の報告があった。

イ. 調査専門委員会の解散 (2 件) および新設 (1 件) が承認された。

[解散]

- ・電磁界観測による地震予知技術調査専門委員会 (電磁環境技術委員会)
- ・高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会 (誘電・絶縁材料技術委員会)

[新設]

- ・先進超伝導材料の組織・組成と特性に関する調査専門委員会 (金属セラミックス技術委員会)

ロ. 委員長交代について

- ・次回委員会から湯本委員長に代わり福永委員長が就任する。

ハ. 研究経営会議報告

- ・120 周年シンポジウムは、特集号を絞った内容で依頼することになる。
- ・研究会原稿の電子化について、試行を行いトラブルの洗い出しを行う必要がある。A 部門は誘電・絶縁材料技術委員会に、また、B 部門との合同研究会として放電技術委員会に担当をお願いする。
- ・隔月発行されていた英文特集号は、平成 20 年 10 月以降中止する。
- ・各技術委員会のホームページは、技術委員会の開催に合わせて年 4 回程度更新してほしい。

ニ. 英文ホームページ

- ・英文ホームページを作成してほしい。EINA マガジンの原稿を掲載することは可能である。

3. 平成 20 年度活動計画並びに計測研究会開催予定最終案

作本幹事より資料 118-2 および 118-3 に基づき、平成 20 年度活動計画並びに計測研究会開催予定最終案について説明があった。

- ・三次案と変更はない。次回委員会では平成 21 年度一次案の審議となる。
- ・電気通信大学の内田先生から、筑波大学の小高先生より「身体の随意運動における個性」に関する委員会の発足について提案があったとの報告があった。委員は 8 名程度で、委員長は小高先生が担当する予定である。
- ・見学会は 2 回計画しているが、見学場所の候補を提案してほしい。
- ・6 月の「電磁波計測」の担当は山崎委員と廣瀬委員に、12 月の「生体計測および一般」の担当は長井委員と内田先生にお願いする。

4. 平成 20 年度活動状況

作本幹事より資料 118-4、118-5 および 118-6 に基づき、平成 20 年度活動状況について報告があった。

- ・大阪で開催する「リモートセンシングおよび一般」の研究会は 7 月末を予定するが、場所は未定である。また、東京支部連合研究会は 9 月 12 日午後の開催を予定する。

5. 基礎・材料・共通部門誌 編集計画について

小野委員より資料 118-7 に基づき、編集委員会の報告があった。

- ・平成 21 年 1 月号に各技術委員会の調査活動を報告する必要がある。田辺委員長が執筆を担当する。
- ・平成 21 年 8 月号の論文特集は計測技術委員会が担当することになった。特集号のテーマは「安全安心のための計測」を候補として、幹事団と小野委員で調整する。
- ・特集号の募集会告の原稿締切は 5 月 20 日となっており、次回の編集委員会には提案する必要がある。また、エディタ、巻頭言の担当も決める必要がある。
- ・海外駐在記事について、山崎委員、伊澤委員に検討をお願いする。

次回予定

日 時 平成 20 年 9 月 19 日 (金)

場 所 未定